



富澤けいじ板

和光市議会議員 富澤けいじ keiji048467@gmail.com
和光市南町 1-2 2-8 ☎/fax 048-467-0897

平成27年12月定例議会 富澤けいじの一般質問(要旨)



生活困窮者自立支援法等

Q 現役世代の不就労者・引きこもりの増加は、地域の活性化を妨げるだけではなく、高齢家庭の負担となっています。社会的孤立(ひきこもり)に対する市の取り組みを伺います。

A 保健福祉部長

和光市くらし・仕事相談センターでは、ひきこもりとなってしまう方訪問支援、状況分析し自立支援プランの作成。中央コミュニティケア会議生活困窮者部会において決定したプランに基づき社会復帰に向けての自立支援を行っています。

Q 介護離職の取り組みについて。

突然訪れる親や家族の介護に携わり、仕事との両立に苦しみ職場を辞める「介護離職者」が年間10万人を超えていると言われています。和光市の状況は？

A 保険福祉部長

世帯の介護力や介護負担について査定し、仕事と介護が両立できるよう、世帯全体を支援しております。介護離職は非常に少ないものと考えています。

Q ゲートキーパー「命の門番」養成する研修を小・中学教員に。児童生徒のいじめ、暴力行為や自殺等の重大事故を防ぐため初期の対応ができるスキルを身につけることが大事です。市の見解を伺います。

A 教育長

児童・生徒の変化に気づくことのできる校内体制の整備充実に努めています。教育相談や教育支援センター・スクールカウンセラー・社会福祉課やこども福祉課等と連携し自殺の危険性の高い事例に適切に対応し未然防止を図ってまいります。

障害者差別解消法

Q 障害を理由とする差別の解消を推進し全ての国民が、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現を目指す「障害者差別解消法」が28年4月1日から施行されます。取り組みの推進を伺います。

A 保健福祉部長

市内の商工会加入企業約900社に、法の概要を記載したリーフレットを送付し、民間事業者向けの説明会を開催。広報わこうに障害者週間の特集記事を掲載しました・啓発活動に取り組み、障害者差別解消に向けて取り組んでまいります。

Q 障がい者の就労支援の取組は？

A 保健福祉部長

直近の登録者数162名その内72名の方が現在就労中です。就労後も長期間職場に定着できるよう支援してまいります。職員に対しても障害者就労支援の経験のある人材を採用し職務に必要な知識の習得に努めています。

道路管理

Q 道路管理・維持・補修について現状と取組みは。

A 建設部長

定期的な道路パトロールを実施し不具合を確認し、応急措置や緊急工事にて対応。また道路修繕を必要とする箇所・内容を総合的に評価し、予算化された箇所から順次、補修工事を実施しています。

Q 通学路の安全対策の取り組みは。

A 各小学校PTAと教育委員会が取りまとめ朝霞警察署と道路安全課の合同で現地調査。対応策が確定次第応急処置・緊急工事等対処。横断歩道や停止線などは朝霞警察署に要望を報告しています。